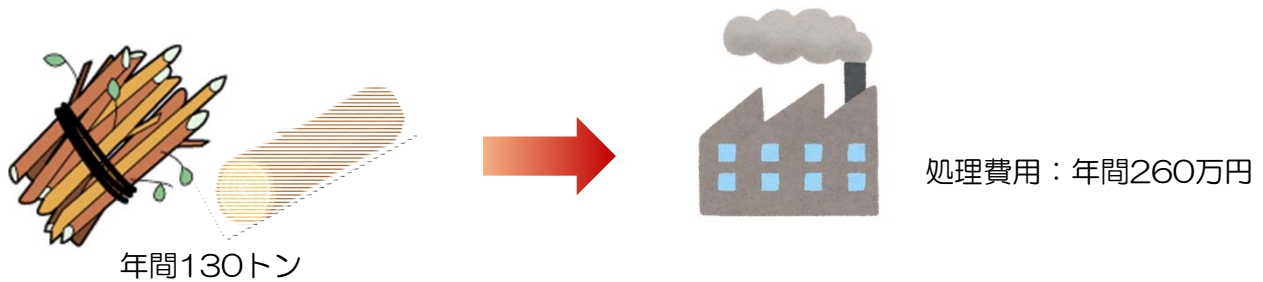


# 自然との共生こそ最大の省エネ

## これが名古屋大学のSDGsだ！

名古屋大学の“緑のキャンパス”では、毎年約130トンもの木材がゴミとして廃棄されています。



木材を加工して再利用することで、二酸化炭素排出量の削減と経費削減が可能となります。



名古屋大学を「緑のキャンパス」と称えた初代総長 澁澤元治が就任して83年がたった現在、減少し続ける緑地は先代からの贈り物であり名古屋の宝である。これからも守り育み続けたい。